

年 組 名前：

# 県人口自然減止まらず

## 来月80万人割れか

山梨県が30日までにまとめた今月1日時点の常住人口は昨年12月より6900人減少し、80万4000人となった。昨年9月以降、減少傾向が続いており、このままのペースだと、2月時点で80万人を割り込む可能性がある。県統計調査課によると、県人口は1980年5月以降80万人台で推移しており、80万人を割り込めば約43年ぶりとなる。

同課によると、今月1日時点の人口は男性が前月比295人減の39万3088人、女性が395人減の40万7312人。死亡数が出生数を上回る自然減で698人減り、社会増減では8人の転入超過だった。

今月1日までの1年間では自然減で6108人減、社会増減で2263人の転入超過となり、総人口は3845人減少。人口移動報告は市区町村が作成した住民基本台帳を基にまとめているが、常住人口は台帳への登録と関係がない国勢調査を基に推計しているため、転入者数などは一致しない。

昨年1月以降は自然減で毎月700〜3000人台の減少が続いている一方、社会増減では5月（1679人増）以降、転入超過が続く。世帯数は34万6024世帯で、前年同期より4225世帯増えた。

県二拠点居住推進課は、2月に人口が80万人を割り込む可能性があることを踏まえ、「転入者の増加に向けた対策を進めることで、人口減少のスピードを緩やかにしていきたい」としている。

県人口は1980年4月に79万8315人だったが、同年5月以降は80万人台で推移。ピークは2000年9月の89万5646人で、その後は2年で1万人前後のペースで減少が進んでいる。県は人口減少対策を講じることで減少幅を抑え、40年の人口を69万9千人、60年は59万9千人とする目標を設定している。

〈野口健介〉

(2023年1月31日付 山梨日日新聞1面)

### 問1

2023年1月1日時点の山梨県の人口を教えてください。

人口：.....人（男性：.....人 女性：.....人）

### 問2

県の人口は減少している一方で、世帯数は増加しています。今年の1月時点と、昨年1月時点の世帯数を教えてください。

2023/1月時点：.....世帯 2022/1月時点：.....世帯

### 問3

このままのペースから推移すると、2月時点で43年ぶりに80万人を割り込む可能性があります。あなたは、人口を増やすためには、何が必要であると考えますか。

.....  
 .....